



平成 28 年 3 月 10 日

各 位

会社名 日邦産業株式会社  
代表者名 代表取締役社長 大塚 眞治  
(JASDAQ・コード 9913)  
問合せ先 執行役員 CSR 統括部長 三上 仙智  
(TEL. 0587-98-1227)

## 減損損失および関係会社株式評価損の計上に関するお知らせ

当社は、平成28年3月期通期（平成27年4月1日～平成28年3月31日）において、減損損失および関係会社株式評価損を特別損失として計上する必要が生じたので、お知らせいたします。

### 1. 減損損失の内容

当社は、営業活動から生じる損益が継続してマイナスとなる見込みであり、減損の兆候が認められることから、「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき、将来の回収可能性を検討した結果、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、約 320 百万円の減損損失を計上する必要が生じました。

また、当社の子会社である NIPPO METAL TECH PHILS., INC. は、金属加工からプラスチック射出成形事業に業態を転換しているものの当初来の事業計画を下回っていることから、事業用資産の帳簿価格を回収可能価額まで減額し、約 190 百万円の減損損失を計上する必要が生じました。

### 2. 関係会社株式評価損の内容

当社の子会社である PT. NIPPO MECHATRONICS INDONESIA の純資産額が減少し当社保有の関係会社株式の実質価額が著しく低下したため、当社は約 399 百万円の関係会社株式評価損を計上する必要が生じました。

また、当社の子会社である日邦メカトロニクス株式会社の純資産額が減少し当社保有の関係会社株式の実質価額が著しく低下する見込みのため、当社は約 230 百万円の関係会社株式評価損を計上する必要が生じました。

なお、上記の関係会社株式評価損は、連結財務諸表上では全額消去されるため、連結業績への影響はありません。

### 3. 連結業績に与える影響

今般の減損損失計上により、平成 28 年度の減価償却費負担は約 180 百万円軽減する見込みであります。

また、個別決算においては、減損損失と関係会社株式評価損合わせて約 950 百万円の特別損失を計上する必要が生じたことにより、利益剰余金がマイナスになる見込みであります。

よって、当該損失の計上に伴い、平成 28 年 3 月期の通期業績予想を修正するとともに、配当予想の修正を行いましたので、本日（平成 28 年 3 月 10 日）別に公表いたしました「連結業績予想および配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

以 上